

令和5年4月30日発行

創刊号

本北コム.コム

今号のテーマ：本北コミュニティってなに？

- 第26回コミュニティ総会が開催されました
- 本北コミュニティを知ろう！ ① 組織の概要と主な活動
- 本北コミュニティを知ろう！ ② 年間行事について
- コラム：広報紙発刊によせて

ごあいさつ

本北コミュニティ会員の皆様いつもお世話になりありがとうございます。

本北コミュニティでは、去る4月16日に第26回総会を開催いたしました。コロナ禍のため小規模総会となりましたが、令和5年度の事業計画案が可決され、昨年度までコロナの影響で出来なかったイベントも今年度は開催される見通しにあります。

とは言えコロナ禍の厳しい状況の中でも、当コミュニティは令和3年度、4年度とコミセン祭りを規模を縮小しながら開催し成功させました。これは特筆すべき事であり、当コミュニティ皆様の高い志の表れであり努力の賜物だと、ご協力に衷心より感謝申し上げます。

翻り世界や周辺の情勢をみると、各地で起こっている戦争や紛争、気候変動により多発する災害、不安定な経済状況が巻き起こす物価高など、特に弱者にとって益々暮らしづらい状況となっています。

災害が少ないといわれる当地域でも、より安全に安心して暮らせる地域を目指して行動する、住民同士の絆の大切さが問われる時代だと私は考えます。

今回発刊しましたこの広報紙は、地域の皆様の「和」と「輪」を大切にしたい情報を発信して参ります。そして、住民皆様へ開かれたコミュニティ、気軽に参加できるコミュニティを目指していきたく存じます。どうぞ皆様のご理解とますますのご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和5年4月吉日

本郷北コミュニティ推進協議会
会長 田中 均



本郷北コミュニティセンター創設時に植樹された桜の木が、今年も見事に花を咲かせました。爽やかな春風に舞う桜吹雪の中、鳥たちの楽しそうな鳴き声がコミセンの空に響き渡っていました。撮影：4月5日

第26回 本郷北コミュニティ総会が開催されました

本郷北コミュニティ推進協議会では、令和5年4月16日(日)午前10時よりコミュニティセンターにおいて、第26回総会を行いました。

当協議会執行部は、総会の準備として2月と3月に各自治会の理事とともに打ち合わせを行い、今回も新型コロナウイルス感染状況が完全に収束していないことにより、昨年同様小規模総会開催としました。

出席の対象者は、本コミュニティ新旧の理事と執行部役員のみで招集をかけ、会員には委任状の提出をいただき開催の運びとなりました。この小規模総会について出席者から「会員が出席できない総会が、役員だけで決済してよいのか?」との質問がありましたが、コロナ禍が終息していない状況であるため、規約により適切な措置であると確認されました。

定刻の10時に総会開始となりましたが、その前に上三川町社会福祉協議会の天谷係長より町社協の活動状況の報告を受けました。その後の総会進行は下記のとおりです。

●議長及び議事録署名人の選出

●資格審査報告

●議事

第1号議案 令和4年度活動報告
令和4年度決算報告・特別会計決算報告
会計監査報告

第2号議案 令和5年度活動計画(案)
令和5年度予算(案)

第3号議案 役員改選(案)

以上の議案はいずれも賛成多数で可決されました。

質疑応答では、昨年度200円だった会費を800円に戻すことについて質問と意見が出ましたが、話し合いにより令和5年度の会費は800円で可決されました。会費について詳しくは、右の「会費についてのお願い」を参照してください。

●その他

事務局長の浅原氏から「コミュニティ活動でのイベントスタッフ募集」について提案があり、今後検討することになりました。

以上、今後の役員会で検討する課題も出た総会でしたが、承認をいただいた活動計画に則り、令和5年度の本北コミュニティの運営を各部会及び執行部役員にて行いますので、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。(文責/根本)



会費についてのお願い

本北コミュニティ執行部は、総会資料作成の準備における会議で、令和5年度の会費をどうするかについて各自治会の理事を交えて検討しました。

過去2年間、新型コロナウイルスの感染が蔓延し政府が国民に対する行動制限を発令する中、当コミュニティも計画した行事が中止になり、会員に対して十分なサービス還元ができないと考え、特別処置として会費を200円に減額しました。上三川町内のコミュニティでこのような決定をくださったのは本北コミュニティのみでした。

現在の新型コロナウイルス感染状況は、完全終息とは言えませんが、政府もマスクの着用を個人の判断に任せると改善の方向に向かっています。

当コミュニティも本年度は計画している行事が従来通り開催できるものと判断し、会費をコロナ禍前の800円に戻すことを総会で提案し可決されたものです。会員の皆様どうぞご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

イベントスタッフ募集について

総会のその他の項目で、浅原事務局長より提案があった「イベントスタッフ募集」について、当コミュニティではイベントや活動の際、協力してくれる方を広く募集したいと思います。これは昨年のコミュニティ祭り

で人手不足を痛感したことから、執行部や理事、専門部会とは別のフリーな立場の人材を求め、自分の得意なことに協力してもらいたいという思いから提案したものです。今後具体的な方針は会議で検討し、広報などで募集したいと思いますのでご期待ください。

本北コミュニティを知ろう！① 組織の概要と主な活動



令和4年9月のクォーター清掃でのひとコマ

本北コミュニティ活動の拠点「本郷北コミュニティセンター」

※本郷北小学校地区の位置



本郷北小学校地区基本データ

自治会数 11自治会 (93自治会 上三川町)
 世帯数 1,623世帯 (12,316世帯 上三川町)
 人口 4,492人 (31,103人 上三川町)

戸数は会員数なので世帯数と相違があります 令和5年3月31日のデータです

敬称略

自治会名	戸数	理事名
西木代	37	原 修一
西汗上西	138	宇津木宜雄
西汗上東	28	仲山 正美
西汗下	176	野沢 孝男
磯岡	66	山崎 光一
美里	190	對馬 久男
露無	—	—
本郷台第1	247	高橋 直人
本郷台第2	228	植木 英子
本郷台第3	245	田淵 慎一
ひがしはら	13	鵜殿 幸夫
合計	1,368	理事は令和5年度就任者

本郷北コミュニティ推進協議会は、「ふれあい盆踊り」や「コミュニティ祭り」などコミュニティの会員が独自に企画運営する地域団体の形態のほかに、上三川町社会福祉協議会との連携による「本郷北小学校地区社会福祉協議会」としての顔を持ち合わせています。

上三川町には同様の地域団体が7つあり、名称のとおり各地域の小学校の学区を対象とした自治会で構成されています。この地域団体は社会福祉協議会から補助金を受け、主に下記のような活動をしています。

なお活動はボランティアですので協力者にはお茶代やお車代程度のわずかな経費のみで謝礼は支払われておりません。

食事サービスボランティア活動

毎月第1月曜日に、食事サービスボランティアのメンバーが、一人暮らしの高齢者に提供するお弁当を作っています。作られたお弁当は民生委員が対象者に届けています。



コミュニティから感謝の意を込めてお揃いの割烹着がプレゼントされました。(令和3年8月)



毎月おいしいお弁当をありがとうございます。

ふれあい・いきいきサロン

本北コミュニティでは、毎月第1木曜日に地域の高齢者が気軽に集まってさまざまな活動をする機会を提供しています。この活動により、高齢者の心身の健康の維持、地域のつながりの輪を広げるなどの効果を目指しています。



ふまねっと運動。リズムに合わせて軽い運動で高齢者の体力維持を図ります。



「昔話を聞こう会」地元や各地の民話・昔話をボランティアのかたりべさんから聞きました。

くろねえ会議

上三川町社協では「地域みんなで 助けあい 支えあい 声掛けあい」の精神で、誰一人として置き去りにしない安心な地域づくりを目指しています。



会議では熱心に話し合いが行われました。

くろねえ会議で話した内容をまとめたチラシを各戸に配布しました。



本北コミュニティを知ろう！② 年間行事について

本北コミュニティには、①青少年健全育成部会、②女性部会、③高齢者部会、④地域産業部会、⑤地域福祉部会、⑥生活安全部会、⑦体育部会、⑧文化振興部会、⑨広報部会の九つの専門部会があります。

この専門部会は、各自治会の会員の中から選ばれた人たちが構成されます。そして毎年5月に会議を開き年度内に行う行事や活動方針を話し合います。しかしここ3年間は新型コロナウイルス感染対策上、企画した行事が中止にな

ることが多く、あまり活動することが出来ませんでした。

今年度はやっと新型コロナウイルス感染も下火となり、政府としてもマスクの着用は個人の考えに任せるとの見解を示し、当コミュニティにとって本来の活動が再開できる明るい兆しとなってきました。

それでは、当コミュニティで今までに企画実施してきたイベントにはどんなものがあったのでしょうか。過去を振り返りながら、ほんの一部を紹介します。



ふれあい盆踊り

担当：全部会合同

新型コロナウイルス蔓延前までは、毎年の恒例行事として8月に開催されました。本北小の校庭にたくさんの人が集まり、夏の一夜を楽しみました。



本郷北コミュニティ祭り

担当：全部会合同

秋には全ての専門部会が協力しあい、コミュニティ祭りが開催されます。コロナ禍においても規模を縮小しながら開催できたことに感謝いたします。



担当：地域産業部会

親子体験、そばの種まきから試食まで

そばに関する体験3部作です。夏は種まき、秋は刈り取りと脱穀、冬は自分たちで手がけたそば粉でそば打ち体験と、自分で打ったそばの試食会。



ふれあい縁日

担当：文化振興部会

スマホやゲームなどに偏りがちな現代の子どもたちに、昔ながらの遊びを体験してもらいながら、他人と交流することで、心豊かな子どもに成長して欲しいという願いを込めた行事です。



AED講習会

担当：女性部会等

人の命に係わる緊急時に、パニックになることは当たり前ですが、講習会を体験することで、救える命を積極的に救えるよう、繰り返し勉強することが大切だと毎回実施しながら思います。



グラウンドゴルフ大会

担当：高齢者部会

高齢者でも楽しみながら体力維持や健康管理が気軽にできるスポーツとして、高齢者部会が毎年企画します。輪投げ大会なども行われます。

column 広報紙発刊によせて

磯岡自治会 本郷北コミュニティ推進協議会副会長 根本 誠一

本北コミュニティは発足後何十年も経ち、総会も今年で26回を数えているのに「なんで今さら広報紙の発刊なの？」と思われる人もいるでしょう。その答えは「その気になった」と「その期がきた」ということでしょうか。

なんでもそうですが、何かを始めるのに誰かが「やろう」と思わなければ何も始まりません。そして「やるタイミング」が整わなければ計画を進めることはできません。

私が本北コミュニティに関りだしたのは、年号が平成から令和に変わる時でした。田仲会長から執行部へ参加の要請があり、それでは広報なら何らかの役に立てるかなと思ひ広報部長を引き受けました。私の職歴が40年以上も印刷物の制作に携わってきたからです。

以前の私はコミュニティの活動に一切関心がなく、広報を引き受けても何もわからずじまいでした。しかし、会議や催し物に参加して様々な人と出会ううちに、コミュニティについて自分なりのビジョンを描くようになったのです。そして、もっと多くの人にコミュニティに関心を持ってもらい、活動に参加して欲しいと考えるようになりました。その考えを少しでも実現させるには、広報紙を発行することで皆さんにコミュニティの活動を知ってもらい、関心を持ってもらうことが必要だと思ったのです。

一昨年度には本北コミュニティのホームページを開設しました。今後は広報紙とホームページの両輪で皆さんに有益な情報を発信していきたいと思っています。

発行 本郷北コミュニティ推進協議会・本郷北小学校地区社会福祉協議会

スマホでホームページは
こちらのQRコードから



パソコンでのホームページへのアクセスは「本北コム.コム」で検索。(ドットは半角英数でお願いします)

本北コム.コム

